

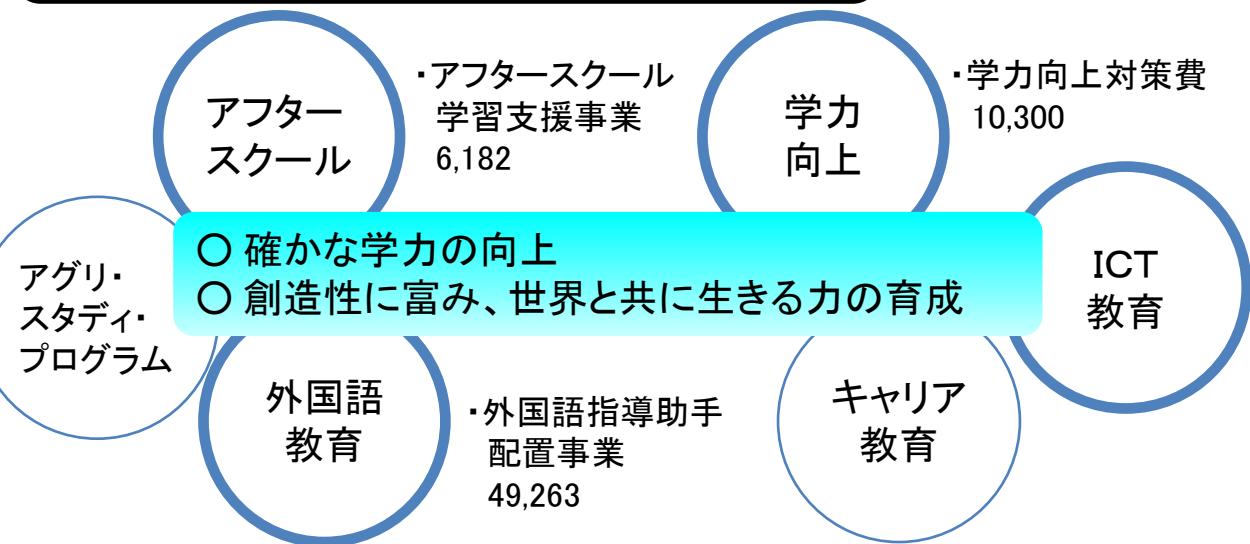


令和元年度 教育委員会の施策について

新潟市教育委員会

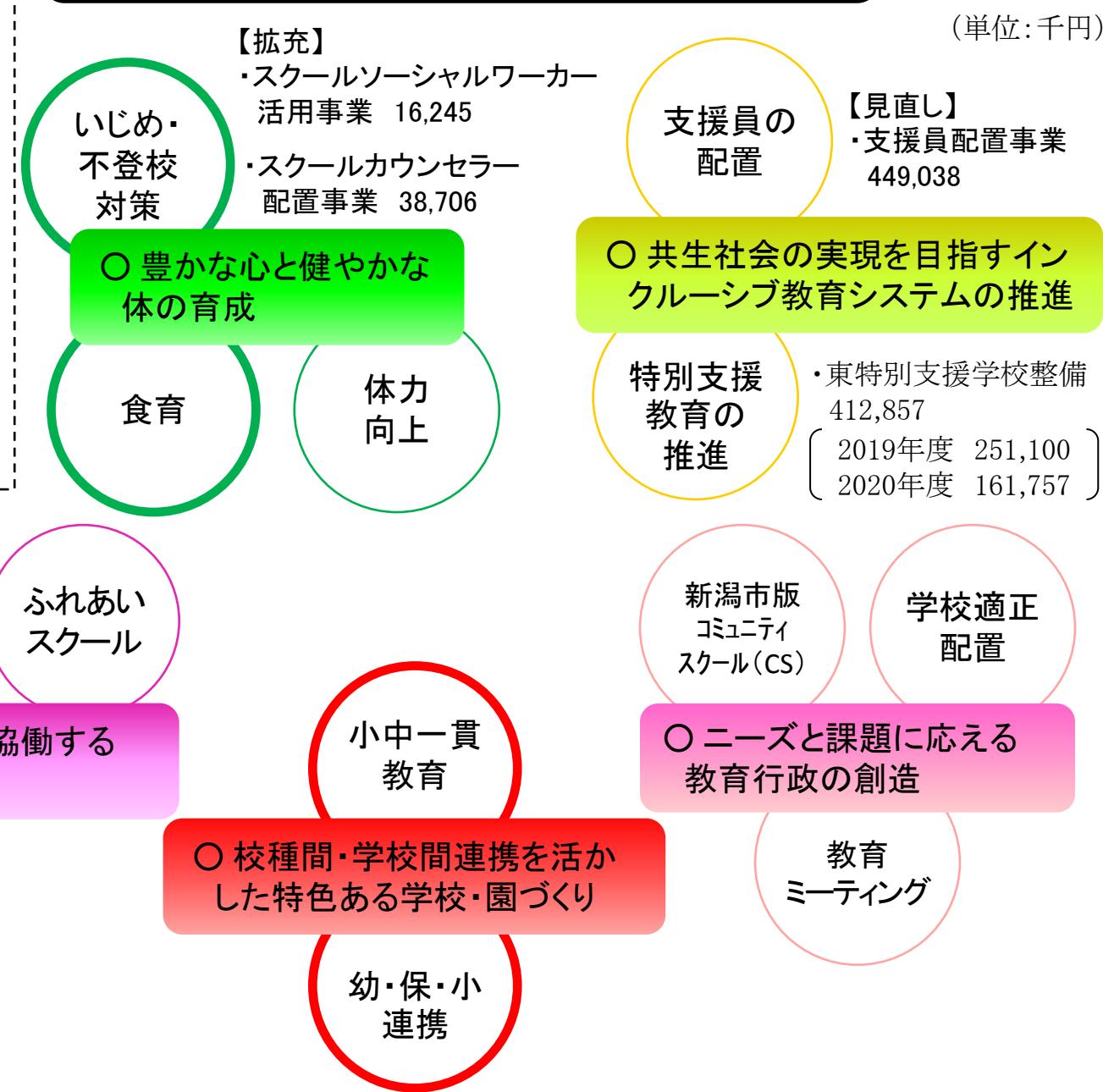


学力の向上に向けた取り組み



○ 確かな学力の向上
○ 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成

より質の高い教育に向けた取り組み



(単位:千円)

○ 豊かな心と健やかな体の育成

○ 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進

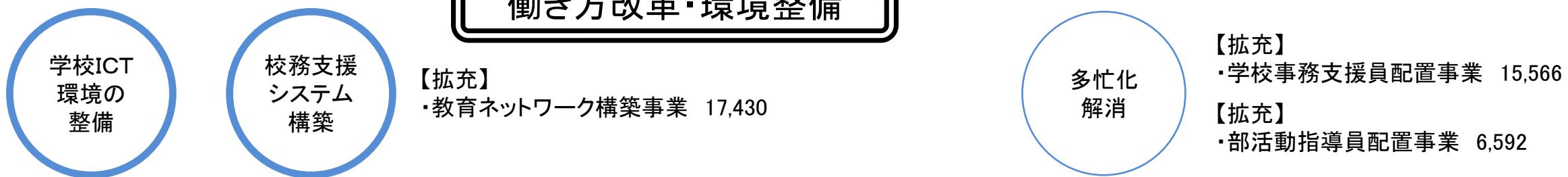
○ 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進

○ 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進

○ 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり

○ ニーズと課題に応える教育行政の創造

働き方改革・環境整備





外国語教育の充実

新学習指導要領の全面実施に向けて
校種に応じた取組を行います

小学校

- 市内全校において新学習指導要領の先行実施
- A L Tの授業回数増
- 専科教員の配置
- 新学習指導要領対応研修の充実

中学校

- 全国学力・学習状況調査の結果を受けた授業改善
- 新学習指導要領を指向した授業公開
- A L Tの配置

高等学校

- 新学習指導要領を指向した授業公開
- A L Tの配置
- 中学校から異動した教員の研修の充実

市立全校において、

- 外国語教育マネジメント通信の配信
- 英語指導力向上事業の推進（小・中・高等学校すべてにおける授業公開と大学教授を講師として招聘した研修会の実施）



ICT教育の推進と環境整備

ICT機器を有効に活用し 教育の充実を図ります

教育ネットワークの整備

各学校を**ネットワーク**で結び、教育環境を向上

タブレット端末の整備

台数を増やし、いつでも活用できる環境作り

無線LAN環境の活用促進

アクティブ・ラーニングを推進

デジタル教材の活用促進

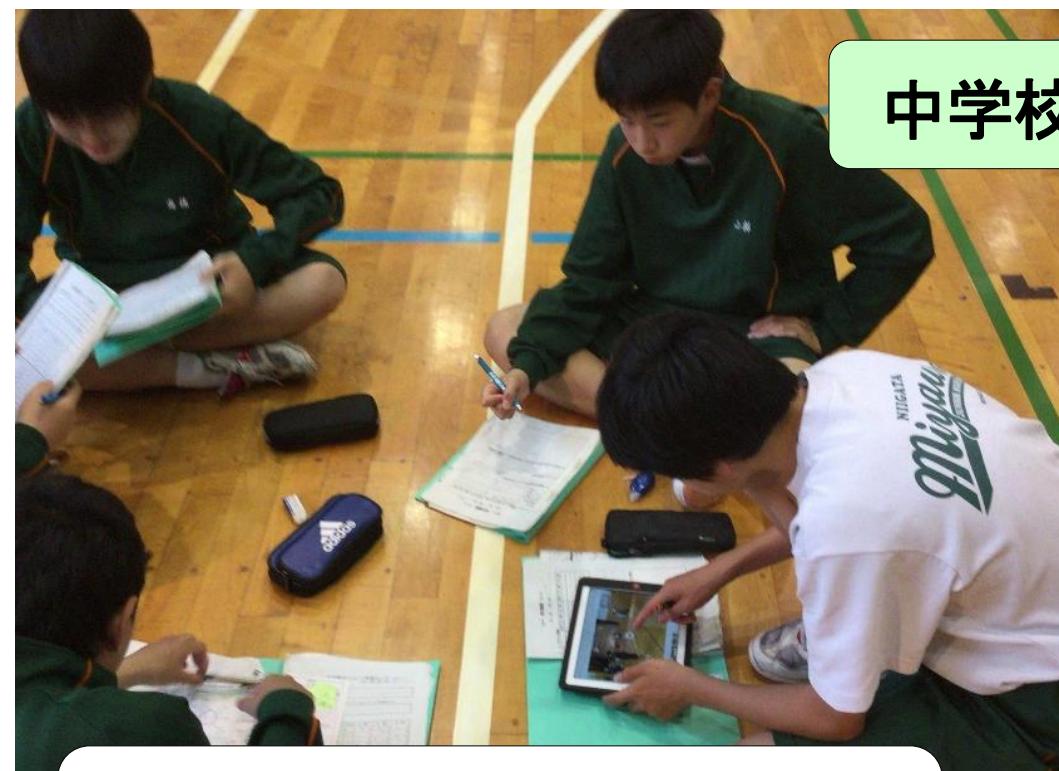
確かな学力の向上に努めます

デジタル教材で
楽しみながら
外国語を学習します

小学校



中学校



体育で体の動きを撮影し、
動画を見ながら話し合います



学校・学級の支持的風土づくりの推進

主体的・対話的で
深い学びの
実現のために

日々の授業づくり

子ども一人一人の
成長を促すために

日々の生徒指導

共生社会の
実現のために

特別支援教育の
推進

【学級の支持的風土】

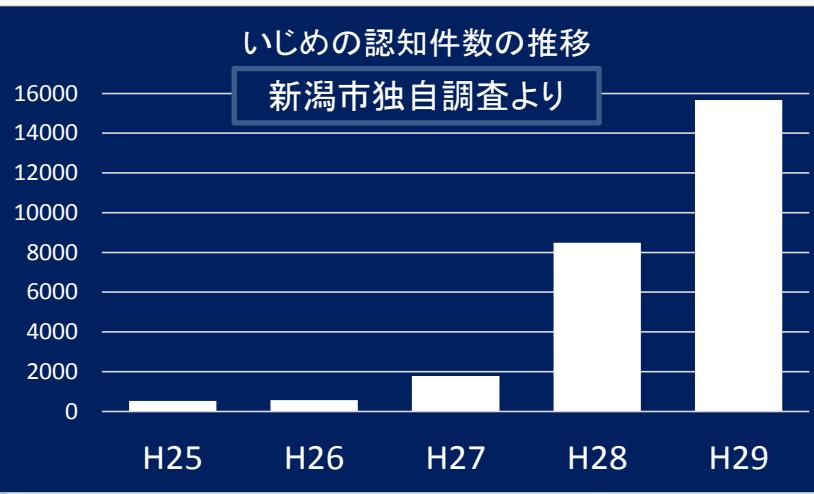
認め合い、助け合い、期待をかけ合い、
高め合う、温かい学級の風土



いじめ対策 ～いじめ・不登校の「初期対応と組織的な対応の充実を図るために」～

1. いじめの積極的な認知の推進

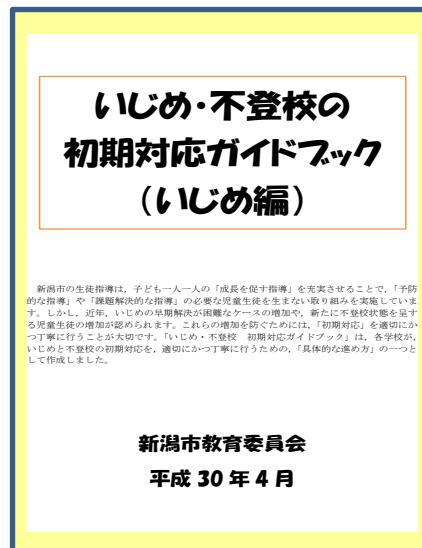
教職員は、いじめの早期発見のために、いじめに対しての感度を高くし、日常観察や教育相談、アンケートの即日複数チェックなどにより、迅速で積極的ないじめ認知を行います。



2. いじめ等の初期対応の基本的な流れ

いじめの対応では、いじめ・不登校初期対応ガイドブック(いじめ編)をもとに、個々のいじめ事案に対して、その原因や背景を多面的に理解するとともに、いじめ解決に向けた具体的な支援策を立て、組織的かつ適切な対応を行います。

- 対応その1 いじめ情報のキャッチ
- 対応その2 正確な実態把握
- 対応その3 指導体制と方針の決定
- 対応その4 子どもへの支援・指導
- 対応その5 保護者への連絡・連携
- 対応その6 今後の対応



3. 具体的な支援策の決定と役割分担



- 【支援策決定のポイント】
- より具体的で実現可能な内容にすること
 - 何をどのように行うか
 - いつ、誰が、どこで、行うか
 - いつまでに、どのようなペースで行うか

校内いじめ対応ミーティングの内容を記録
メモ用紙は、複数枚印刷してファイルし、教頭の机の上を定位置に。校内いじめ対応ミーティングの際に、管理職がメモをして、校長が重要度を決定する。



不登校対策 ～いじめ・不登校の「初期対応と組織的な対応の充実を図るために」～

1. 不登校を生まない手立て

- 【未然防止】「年間を見通した登校支援のポイント」を自校化
自校の教育課程から、新たな不登校が発生しやすい時期、
行事などを明らかにし、あらかじめ未然防止の対策を講じます。
- 【早期発見】「不登校初期対応ガイドブック」の活用
不登校のサインのキャッチと早期対応について、「不登校
初期対応ガイドブック」を全職員に配布し、活用を推進します。
- 【変容把握】「不登校・不登校傾向児童生徒報告」
毎月、「不登校・不登校傾向児童生徒報告」をまとめることを
通じて、欠席がちな児童生徒の変容把握に努めます。

いじめ・不登校の 初期対応ガイドブック (不登校編)

新潟市は、子ども一人一人の「成長を促す指導」を充実させ、自立性と社会性を育む生徒指導を推進してきました。しかし、近年、いじめの早期解決が困難なケースの増加や、新たに不登校状態を呈する児童生徒の増加が認められます。これらの増加を防ぐためには、「初期対応」「予防的な指導」「課題解決的な指導」を適切にかつ丁寧に行うことが大切です。「いじめ・不登校 初期対応ガイドブック」は、各学校が、いじめと不登校の初期対応を、適切にかつ丁寧に行うための、「具体的な進め方」の一つとして作成しました。

新潟市教育委員会
平成 30 年 4 月

2. 再登校・教室復帰を目指す支援

「児童生徒理解・教育支援シート」の作成と活用

「児童生徒理解・教育支援シート」を活用し、より多くの職員が関わり、有効な支援を行います。
また、進学先の学校に引き継ぐことにより、切れ目のない継続的な支援を行います。

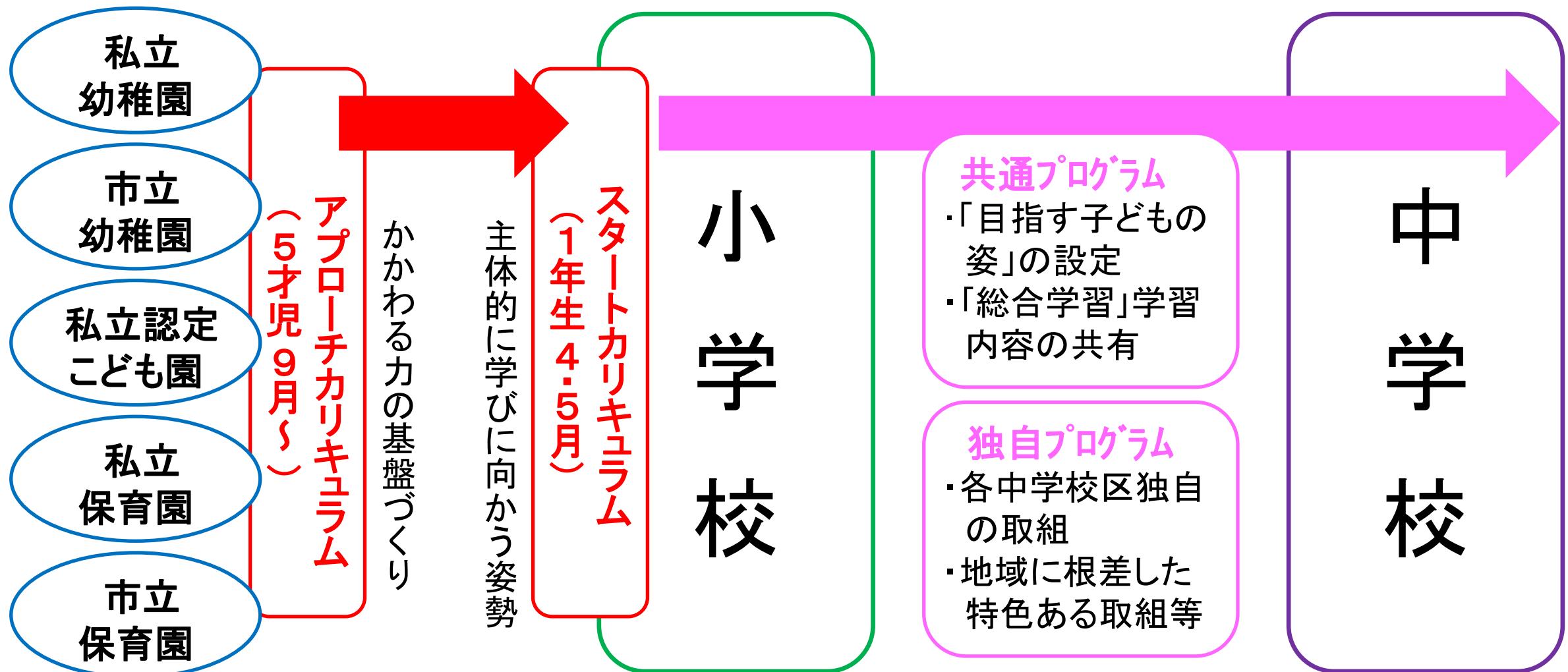


「新潟市の一貫教育」の推進

* 令和2年以降も踏まえて

【ポイント】

- ・良さを引き継ぎ、褒めたり励ましたりする機会を増やし、子どもたちの自己肯定感を高めます。(保幼小連携・小中一貫)
- ・市立私立の別なく、かかわる力の基盤づくりを重点にした取組を実施します。(保幼小連携)
- ・地域の特性を踏まえた「目指す子どもの姿」を設定し、小中で実現を図ります。(小中一貫)





地域と学校パートナーシップ事業 ～地域と共に歩む学校づくり～

子どもが元気に！

学力が向上しています
社会性が育成されています
自己肯定感が高まっています

連携と協働

学校が元気に！

地域の参加による多様な学習活動
地域住民の学校理解と協力
地域に根ざした特色ある学校づくり

地域が元気に！

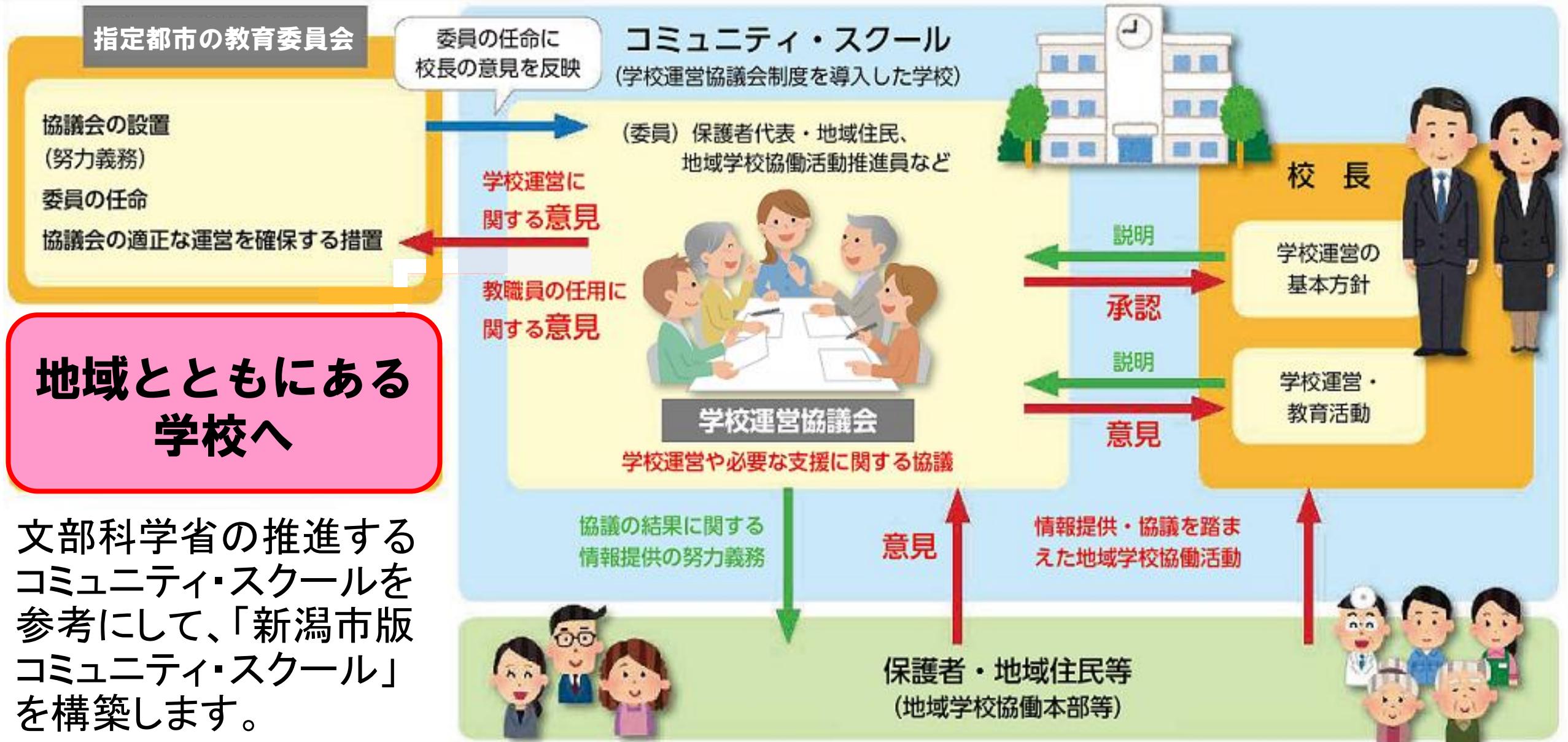
学校を学びの拠点とした活動
大人と子どものふれあい・交流
地域の活性化

一層の「重点化」と目標を共有する会などを通して「役割分担」をすすめて、学校や地域、そして子どもたちをさらに元気にしていきます。



コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）

（文部科学省イメージ）



文部科学省の推進するコミュニティ・スクールを参考にして、「新潟市版コミュニティ・スクール」を構築します。

- 2020～2021年度
モデル校での実施
- 2022年度～
全市で実施

<学校運営協議会の主な役割>

地教行法第47条の6

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができる
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる



市民の多様な学習活動を支援するとともに、学んだ成果を地域で生かし、学びの継承を通して、新たなつながりを広げることで、地域課題の解決や地域の活性化を進める人材の育成と活躍の場を支援します。



地域コミュニティ活動活性化支援

コミュニティ・コーディネーター 育成講座

地域課題解決のための活動に取り組む人材の発掘と育成を行い、地域のネットワークづくりを促進し、講座で学んだ成果を活かした活動の実践を支援します。



- 子ども食堂の開設
- コミュニティ・ビジネス など

にいがた市民大学

= 現代的課題など専門性の高い講座や、
時代の変化や市民ニーズに対応した講座の開設 =



★学びの場の提供

- ☞ 県内外の著名な講師陣
前期講座 & 後期ゼミナール
自主グループ化の支援



★学びの循環（活用）

- ☞ 自主的な地域活動等

図書館の団体貸出制度（BookPack）

本を使って、「居場所づくり」
「まちづくり」「ひとづくり」を支援

- ☞ 地域の茶の間・まちづくりセンター
・学校のボランティア室・地域の個人商店などに図書を貸出

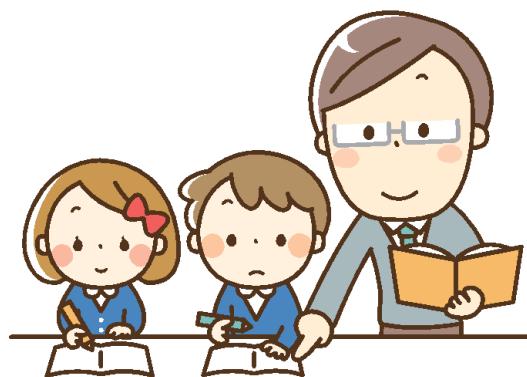
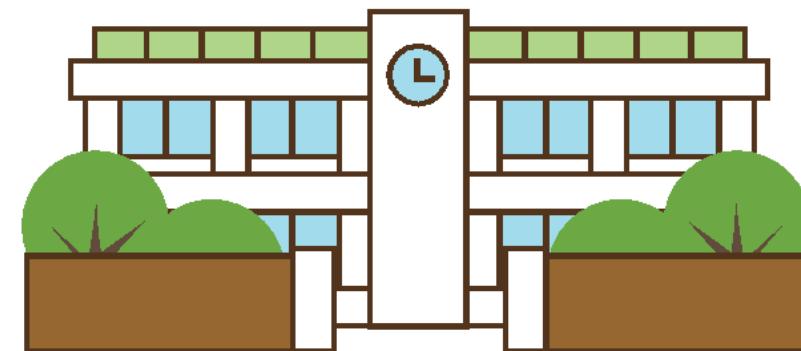




学校・教職員の多忙化解消 ～教育委員会ではこんな取組を進めています～

バランスの取れた勤務のための取組

- ◎退勤時刻の目安を設定
- ◎一定のルールに基づく時間外の電話対応 など



学校支援のための取組

- ◎専科教員・学校事務支援員の配置
- ◎スクールロイヤー制度の導入 など

適正な部活動のための取組

- ◎「新潟市立中学校部活動指導のガイドライン」の徹底
- ◎部活動指導員の配置 など





学校・教職員の多忙化解消 ～学校園ではこんな取組を進めています～

「一校一取組の推進」 ～各学校園の挑戦

◎業務改善の推進

放課後は諸会議を設けず、部活指導や学級業務など、子どもと向き合う時間に当てる。など

◎バランスの取れた勤務

部活動各部の「休養日」を「見える化」して徹底する。など

◎外部の力の活用

保護者や地域の方にボランティアの協力を得て、活動や行事のお手伝いをお願いをする。など

「一校一取組」の効果（学校アンケートから）

